名フィル

2012.4 - 2013.3
シーズン・プログラム

Nagoya Philharmonic Orchestra
2012.4 - 2013.3 Season Program

公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団

Nagoya Philharmonic Orchestra

●目　次 / Contents

プロフィール / Biography 01-02
指揮者陣 / Conductors 03-05
楽員 / Orchestra Roster 06-08
定期演奏会 / Subscription Concerts 09-20
コンサート・カレンダー / Concert Calendar 21-22
市民会館名曲シリーズ / Famous Works Series 23-28
しらかわシリーズ / Sirakawa Series 29-30
コバケン・スペシャル / Koba-Ken Special 31
おしゃべりコンサート / Talking Concert 32
海の日ファミリー・コンサート / Family Concert on Marine Day 33
スペシャル・ジョイント・コンサート / Special Joint Concert 34
その他演奏会 / Other Concerts 35-36
チケット・割引 / Ticket & Reduction 37-38
座席表・アクセス / Seating Chart & Access 39-41
役員・団友・事務局 / Board, Orchestral Friends & Administration 42

名古屋フィルハーモニー交響楽団

愛知県名古屋市を中心に、東海地方を代表するオーケストラとして、地域の音楽界をリードし続けている。その革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く日本中に話題を発信。“名フィル”の愛称で地元住民からも親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。

2013年4月より、マーティン・ブラビンスが第8代常任指揮者に就任することが決定。多彩なレパートリーを誇る英国の実力派指揮者の就任に、全国から高い注目と期待が集まっている。2013年4月からのシーズンの監修はもちろん、2012年4月からのシーズンも「次期常任指揮者」の肩書きで3公演（2プログラム）を指揮。常任指揮者就任に向け名フィルとの関係を一層深め、より高レベルの演奏を目指している。現在の指揮者陣には、小林研一郎（桂冠指揮者）、モーシェ・アツモン（名誉指揮者）、ティエリー・フィッシャー（名誉客演指揮者）、円光寺雅彦（正指揮者）、川瀬賢太郎（指揮者）が名を連ねている。

楽団結成は1966年7月10日。翌年10月、第1回定期演奏会を開催。1973年4月、名古屋市の出捐により財団法人となる。岩城宏之初代音楽総監督（在任期間 1971-73）をはじめ、福村芳一（常任指揮者 1971-74）、森正（音楽総監督 1974-80）、荒谷俊治（常任指揮者1974-80）、外山雄三（音楽総監督兼常任指揮者 1981-87）、モーシェ・アツモン（常任指揮者 1987-93）、飯守泰次郎（常任指揮者 1993-98）、小林研一郎（音楽総監督 1998-2001、音楽監督 2001-03）、沼尻竜典（常任指揮者 2003-06）、ティエリー・フィッシャー（常任指揮者 2008-11）を歴代指揮者として、演奏の質の向上やレパートリーの拡充に取り組んできた。

2002年、ウィーン・フィルのコンサートマスターであるライナー・ホーネックが首席客演コンサートマスターに、ウィーン国立歌劇場の総監督を務めたイオアン・ホーレンダーが2004年に芸術アドバイザーに就任。また2000年以来、ウィーン・フィルとウィーン国立歌劇場のメンバーを中心に特別編成されたオーケストラ「トヨタ・マスター・プレイヤーズ，ウィーン」と共演。合同公演は2012年に10回目を迎え、深い交友関係を築いている。

1988年に初の海外公演としてヨーロッパ2カ国ツアー（フランス、スイス 広上淳一指揮）を、2000年にアジア8カ国ツアー（ブルネイ、シンガポール、フィリピン、韓国、マレーシア、ベトナム、タイ、台湾 本名徹次指揮）、2004年に「プラハの春」国際音楽祭からの正式招待を受けたヨーロッパ3カ国ツアー（ドイツ、オーストリア、チェコ 沼尻竜典、武藤英明、トマーシュ・ハヌス指揮）、2006年にアジア7カ国ツアー（シンガポール、フィリピン、台湾、韓国、タイ、香港、マレーシア 下野竜也指揮）を実施、大成功を収める。

これまでに、朝比奈隆、クルト・ヴェス、小澤征爾、ヤコフ・クライツベルク、ヘルベルト・ケーゲル、ワレリー・ゲルギエフ、ズデニェク・コシュラー、ピンカス・ズッカーマン、ルドルフ・バルシャイ、ウラディーミル・フェドセーエフ、ラファエル・フリューベック・デ・ブルゴス、ジャン・フルネ、ハインツ・ホリガー、パーヴォ・ヤルヴィ、ハインツ・ワルベルクといった世界的な指揮者が客演。

またシュテファン・ヴラダー、ゲルハルト・オピッツ、エフゲニー・キーシン、スティーヴン・コヴァセヴィチ、ジャン=フィリップ・コラール、ジャン=イヴ・ティボーデ、ルドルフ・フィルクスニー、イェフィム・ブロンフマン、アンドレ・ワッツ、ユジャ・ワン（ピアノ）、サルヴァトーレ・アッカルド、マキシム・ヴェンゲーロフ、ギドン・クレーメル、アイザック・スターン、ピンカス・ズッカーマン、オーギュスタン・デュメイ、ジェルジ・パウク、アンネ=ゾフィー・ムター（ヴァイオリン）、今井信子、キム・カシュカシアン（ヴィオラ）、スティーヴン・イッサーリス、ヤーノシュ・シュタルケル、アンナー・ビルスマ、ボリス・ペルガメンシコフ、ミッシャ・マイスキー、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ、ジャン・ワン（チェロ）、サー・ジェームズ・ゴールウェイ、エマニュエル・パユ（フルート）、モーリス・ブルグ、ハインツ・ホリガー（オーボエ）、モーリス・アンドレ（トランペット）、ジョゼフ・アレッシ（トロンボーン）、エディタ・グルベローヴァ、白井光子、ゲーナ・ディミトローヴァ（ソプラノ）、ベルント・ヴァイクル（バリトン）といった世界的なソリストと共演を重ねる。

数多くのCD録音も行なっており、2010年には話題を呼んだティエリー・フィッシャー指揮「東京公演」のライヴ・レコーディングCDをリリース。受賞歴も多く、これまでに東海テレビ文化賞（1990年）、愛知県芸術文化選奨文化賞（1991年）、文化庁芸術作品賞レコード部門（1997年）などを受賞。

シーズンごとにテーマを設け、意欲的な内容で回を重ねている「定期演奏会」は、2013年3月に節目となる第400回目をマーラー「交響曲第3番」で迎える。また、親しみやすい「市民会館名曲シリーズ」や中規模ホールでの「しらかわシリーズ」、障がいのある方を対象とした「福祉コンサート」など、バラエティに富んだ年間約120回の演奏会を行なっている。

Nagoya Philharmonic Orchestra

The Nagoya Philharmonic Orchestra (NPO) is recognized as leading orchestra in Tokai region, central part of Japan. The NPO has a good reputation on Japanese classical music scene in innovative programming and wonderful performances. NPO is called “Mei-Phil” with love by Japanese audiences, holds firm position as one of Japanese professional orchestras.

In April 2013, British talented conductor Martyn BRABBINS who is known in a wide range of repertoire becomes its 8th Chief Conductor. Many Japanese audiences are looking forward to his inauguration. He supervises program of NPO in 2013-14 and conducts three concerts in 2012-13 season as Chief Conductor Designate. To aim for high level performance, NPO make a close relationship with BRABBINS.

NPO have established relations with many conductors. NPO present conductors are Ken’ ichiro KOBAYASHI as Conductor Laureate from 2003, Moshe ATZMON as Honorary Conductor from 1993, Thierry FISCHER as Honorary Guest Conductor from 2011, Masahiko ENKOJI as Resident Conductor from 2011, Kentaro KAWASE as Conductor from 2011.

Musicians from the City of Nagoya and the surrounding area founded the NPO in July 1966. NPO held the 1st subscription concert in October 1967. NPO received an endowment from the City of Nagoya in 1973.

NPO expanded its repertoire and improved its quality of performances under the batons of Hiroyuki IWAKI (Music Director, 1971-73), Yoshikazu FUKUMURA (Chief Conductor, 1971-74), Tadashi MORI (Music Director, 1974-80), Shunji ARATANI (Chief Conductor, 1974-80), Yuzo TOYAMA (Music Director & Chief Conductor, 1981-87), Moshe ATZMON (Chief Conductor, 1987-93), Taijiro IIMORI (Chief Conductor, 1993-98), Ken' ichiro KOBAYASHI (Music Director, 1998-2003), Ryusuke NUMAJIRI (Chief Conductor, 2003-06) and Thierry FISCHER (Chief Conductor, 2008-11).

In 2002, NPO appointed Rainer HONECK who is Concertmaster of Vienna Philharmonic as Principal Guest Concertmaster. In 2004, NPO appointed Ioan HOLENDER who was Director of Vienna State Opera as Artistic Adviser. Since 2000, NPO have been performing with Toyota Master Players, Wien (TOMAS) which is special formed orchestra with the members of Vienna Philharmonic and Vienna State Opera. The 10th joint concert with TOMAS is held in April 2012, NPO and TOMAS build a firm friendship.

NPO went to international concert tours four times, as follows:

- 1988 France and Switzerland, Jun' ichi HIROKAMI conducted
- 2000 Brunei, Singapore, The Philippines, South Korea, Malaysia, Vietnam, Thailand and Taiwan, Tetsuji HONNA conducted
- 2004 Germany, Austria and Czech (“Prague Spring” international music festival), Ryusuke NUMAJIRI, Hideaki MUTO and Tomáš HANUS conducted
- 2006 Singapore, The Philippines, Taiwan, South Korea, Thailand, Hong Kong and Malaysia, Tatsuya SHIMONO conducted

These concerts received high acclaim in each country.

Meanwhile, NPO performed with many leading conductors and soloists as well as Takashi ASAHINA, Rudolf BARSHAI, Vladimir FEDOSEYEV, Jean FOURNET, Rafael FRÜHBECK de BURGOS, Valery GERGIEV, Heinz HOLLIGER, Paavo JÄRVI, Herbert KEGEL, Zdeněk KOŠLER, Yakov KREIZBERG, Seiji OZAWA, Heinz WALLBERG, Kurt WÖSS, Pinchas ZUKERMAN (Conductor), Yefim BRONFMAN, Jean-Philippe COLLARD, Rudolf FIRKUŠNÝ, Evgeny KISSIN, Stephen KOVACEVICH, Gerhard OPPITZ, Jean-Yves THIBAUDET, Stefan VLADAR, Yuja WANG, André WATTS (Piano), Salvatore ACCARDO, Augustin DUMAY, Gidon KREMER, Anne-Sophie MUTTER, György PAUK, Isaac STERN, Maxim VENGEROV, Pinchas ZUKERMAN (Violin), Nobuko IMAI, Kim KASHKASHIAN (Viola), Anner BYLSMA, Steven ISSERLIS, Mischa MAISKY, Boris PERGAMENSCHIKOW, Mstislav ROSTROPOVICH, János STARKER, Jian WANG (Cello), Sir James GALWAY, Emmanuel PAHUD (Flute), Maurice BOURGUE, Heinz HOLLIGER (Oboe), Maurice ANDRÉ (Trumpet), Joseph ALESSI (Trombone), Ghena DIMITROVA, Edita GRUBEROVA, Mitsuko SHIRAI (Soprano), Bernd WEIKL (Baritone) and so on. Great artists bring to NPO good musical influences and experiences.

NPO has recorded over 30 discs including live recording of “Tokyo Concert” conducted by Thierry FISCHER in 2010 which received critical acclaim. NPO has received various awards and prizes including the 23rd Tokai TV Cultural Prize in 1990, the Aichi Prefecture Arts and Culture Prize in 1991, the Agency for Cultural Affairs Work of Art Award in the Recording Division in 1997.

NPO creates season’ s theme on Subscription Concerts with innovative and sensational program. In March 2012, NPO holds the 400th anniversary subscription concert which performs Mahler’ s 3rd Symphony. Today, NPO performs about 120 concerts a year. Various concerts include popular Famous Works Series, Sirakawa Series at mid-size hall and Welfare Concerts for handicapped persons.

名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮者年表 Nagoya Philharmonic Orchestra Conductor's Chronology

歴代指揮者	称　号	任　期
清田健一	指揮者	1966.07 - 1973.05
岩城宏之	音楽総監督	1971.04 - 1973.05
福村芳一	常任指揮者	1971.06 - 1974.03
鵜飼敏夫	副指揮者	1972.03 - 1972.05
荒谷俊治	指揮者	1973.06 - 1974.05
	常任指揮者	1974.06 - 1980.05
森正	音楽総監督	1974.06 - 1980.05
外山雄三	音楽総監督 兼 常任指揮者	1981.01 - 1987.03
	名誉指揮者	1987.04 - 1988.03
竹本泰蔵	アシスタント･コンダクター	1981.04 - 1983.03
広上淳一	アシスタント･コンダクター	1983.04 - 1984.03
小林研一郎	客演指揮者	1984.05 - 1987.03
	客演常任指揮者	1993.04 - 1996.03
	音楽総監督	1998.04 - 2001.03
	音楽監督	2001.04 - 2003.03
	桂冠指揮者	2003.04 -
手塚幸紀	客演指揮者	1984.05 - 1987.03
	指揮者	1987.04 - 1989.03

歴代指揮者	称　号	任　期
金洪才	指揮者	1984.05 - 1987.03
モーシェ･アツモン	常任指揮者	1987.04 - 1993.03
	名誉指揮者	1993.04 -
岡田司	指揮者	1987.04 - 1990.03
飯守泰次郎	指揮者	1987.04 - 1993.03
	常任指揮者	1993.04 - 1998.03
高関健	指揮者	1987.04 - 1993.03
	客演常任指揮者	1993.04 - 1996.03
小泉和裕	客演常任指揮者	1993.04 - 1996.03
ポプ佐久間	ポップスオーケストラ･ミュージックディレクター	1995.04 - 2012.03
武藤英明	首席客演指揮者	1996.04 - 2005.03
沼尻竜典	常任指揮者	2003.04 - 2006.03
ティエリー･フィッシャー	常任指揮者	2008.04 - 2011.03
	名誉客演指揮者	2011.04 -
円光寺雅彦	正指揮者	2011.04 -
川瀬賢太郎	指揮者	2011.04 -
マーティン･ブラビンス	*常任指揮者*	*2013.04 -*

円光寺雅彦（正指揮者）

1954年東京生まれ。桐朋学園大学指揮科卒業後、ウィーン国立音楽大学に留学。1981年東京フィル副指揮者に就任し、1986-91年同団指揮者を務める。1989-99年に仙台フィル常任指揮者、1998-2001年に札幌交響楽団正指揮者を務め活躍したほか、日本の各オーケストラに客演し着実に活動範囲を広げている。海外でも、1992年プラハ交響楽団に客演したのをはじめ、1994年にBBCウェールズ交響楽団（現BBCウェールズ･ナショナル管弦楽団）、1995年にベルゲン･フィル、1998年にはブルターニュ管弦楽団に客演し、その深い音楽性と適確な指揮で多くの聴衆を魅了した。国際的指揮者として、現在最も期待されている。

《シーズン出演演奏会》
10月31日　第32回市民会館名曲シリーズ（P.25）
2013年1月25,26日　第398回定期演奏会（P.18）

川瀬賢太郎（指揮者）

1984年東京生まれ。八王子高等学校芸術コースを経て、2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻（指揮）を卒業。指揮を広上淳一、汐澤安彦、チョン･ミョンフン、アーリル･レンメライトの各氏に師事。2006年の東京国際音楽コンクール〈指揮〉において1位なしの2位（最高位）に入賞、入賞者デビューコンサートで神奈川フィルおよび大阪センチュリー交響楽団を指揮。2009年に群馬交響楽団定期公演、2010年には東京フィル定期公演にそれぞれデビュー。海外でもイル･ド･フランス国立管弦楽団と共演をしている。また、2007-09年パシフィック･ミュージック･フェスティバル（PMF）にてアシスタント･コンダクターを務めた。

《シーズン出演演奏会》
5月18,19日　第391回定期演奏会（P.11）
6月24日　第31回市民会館名曲シリーズ（P.24）
7月16日　海の日ファミリー･コンサート（P.33）
12月23,24日　第33回市民会館名曲シリーズ（P.26）

小林研一郎（桂冠指揮者）

東京芸術大学卒業。1974年ブダペスト国際指揮者コンクール第1位を受賞。国内外の一流オーケストラや音楽祭を多数指揮。東京都交響楽団正指揮者、東京交響楽団客演指揮者、京都市交響楽団常任指揮者、ハンガリー国立交響楽団音楽総監督･常任指揮者、チェコ･フィル常任客演指揮者、日本フィル、名フィル音楽監督、東京芸術大学指揮科教授などを歴任。現在、アーネム･フィル常任指揮者、ハンガリー国立フィル、日本フィル、名フィル桂冠指揮者、マタヴ･ハンガリー交響楽団、九州交響楽団首席客演指揮者、読売日本交響楽団特別客演指揮者の任にある。国内外のオーケストラへの客演も数多く、現在最も活躍し注目されている指揮者である。

《シーズン出演演奏会》
7月20日　コバケン･スペシャル ファイナル（Vol.24）（P.31）

モーシェ･アツモン（名誉指揮者）

ハンガリー出身。ブダペスト、テル･アヴィヴ、エルサレム、ロンドンで音楽を学び、指揮法はアンタル･ドラティに師事。ミトロプーロス指揮者コンクール第2位、タングルウッドではレナード･バーンスタイン賞を受賞。また1964年リヴァプール国際指揮者コンクール優勝。ドルトムント歌劇場の総音楽監督、名フィルの常任指揮者、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団、シドニー交響楽団、東京都交響楽団、バーゼル交響楽団、オールボー交響楽団の首席指揮者、KBS交響楽団、ブルターニュ管弦楽団の首席客演指揮者を務めたほか、ベルリン･フィル、ウィーン･フィル、ミュンヘン･フィルやロンドンの主要なオーケストラなど、多くの偉大なオーケストラを指揮。

《シーズン出演演奏会》
2013年3月29,30日　第400回記念定期演奏会（P.20）

ティエリー･フィッシャー
（名誉客演指揮者）

1957年生まれのスイス人指揮者。現在はBBCウェールズ･ナショナル管弦楽団の首席指揮者（2012年8月まで）、ユタ交響楽団の音楽監督を務めている。フルートをオーレル･ニコレに師事し、キャリアをハンブルク州立歌劇場およびチューリヒ歌劇場の首席フルート奏者としてスタート。ニコラウス･アーノンクール、クラウディオ･アバドに強い影響を受け、ヨーロッパ室内管弦楽団を指揮してデビュー。タッチの軽さとテクスチュアの明瞭さが優れた特徴であり、それが彼の独特な解釈となる。鋭い様式感覚を持ち、バッハ、古典派、初期ロマン派から新ウィーン楽派、フランス印象主義にわたる広範なレパートリーに新鮮なアプローチをもたらしている。

《シーズン出演演奏会》
10月12,13日　第395回定期演奏会（P.15）

指揮者陣 Conductors

Photo: Sasha Gusov

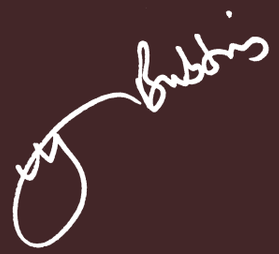
マーティン・ブラビンス
（次期常任指揮者）

ロイヤル・フランダース・フィルの首席客演指揮者として2シーズン目を迎えている英国の指揮者。これまでにチェルトナム国際音楽祭の音楽監督、BBCスコティッシュ交響楽団の副首席指揮者を歴任。ロンドンで作曲を学んだ後、レニングラードで指揮法をイリヤ・ムーシンに師事。1988年リーズ指揮者コンクールで第1位となり、そのキャリアをスタートさせた。以来、英国の全てのメジャー・オーケストラへの定期的な客演に加え、ヨーロッパ、スカンディナヴィア、オーストラリアのほか、ごく最近は日本でも人気の高まりをみせている。
19世紀後半から20世紀にかけての音楽への相性の良さや、またロマン派の音楽の感受性、的確なテンポ感覚、そして詳細を聴き分ける並外れた聴覚は広く知られている。英国音楽と密接に関係し、BBCスコティッシュ交響楽団と録音した〈ウォルトン「交響曲第1,2番」〉では、批評家たちから異口同音に称賛を受けた。これまでに100を超える世界初演作品も指揮し、多くの主要な現代作曲家たちとの密接な繋がりがある。
オペラの分野ではキャリアの早い時期からキーロフ歌劇場でモーツァルトを指揮しており、これまでにネザーランド・オペラ、フランクフルト歌劇場、ハンブルク歌劇場、ベルリン・ドイツ歌劇場、イングリッシュ・ナショナル・オペラなどを指揮。
ロマン派から現代に至るまで幅広い作品の膨大なディスコグラフィを持ち、シャンドス、コリンズ、NMC、cpo、ハイペリオンなどのレーベルからリリースされている。
2013年4月より、名フィルの第8代常任指揮者に就任。

《シーズン出演演奏会》
7月6,7日　第393回定期演奏会（P.13）
2013年2月28日　第34回市民会館名曲シリーズ（P.27）

メッセージ

この度、名古屋フィルハーモニー交響楽団の次期常任指揮者に任命していただき、大変に嬉しく思っています。私は、過去2度の定期演奏会を指揮する機会がありましたが、どれも大変に意義深いものでした。オーケストラの楽員や事務局の皆さんの、音楽の高みへ向かっていこうとする前向きな姿勢に大変感銘を受けました。
今後、私の役目は、名フィルを国内だけでなく国際的にも、さらに高い評価を得られるような楽団に強化していくことであり、そのために、聴衆の皆さまを刺激して喜んでいただけるような演奏を目指し、卓越したプログラム作りをして、名フィルの国際的な名声を高めるための海外ツアーを計画したり、レコーディングを実施したりしていきたいと願っています。
日本の文化のみならず、名フィルの楽員や聴衆の皆さまをさらに良く知り、双方にとって実りある関係が築けることを楽しみにしております。
アリガトウゴザイマス!!



Orchestra Roster 楽員

コンサートマスター Concertmaster

後藤　龍伸
Tatsunobu GOTO

田野倉雅秋（2012年4月～）
Masaaki TANOKURA

日比　浩一
Koichi HIBI

首席客演コンサートマスター Principal Guest Concertmaster

ライナー・ホーネック
Rainer HONECK

客演コンサートマスター Guest Concertmaster

植村　太郎
Taro UEMURA

アシスタント・コンサートマスター Assistant Concertmaster

石渡　慶豊
Keiho ISHIWATA

日高みつ子
Mitsuko HIDAKA

中西　俊哉
Toshiya NAKANISHI

大竹　倫代
Michiyo OTAKE

平田　愛
Ai HIRATA

矢口十詩子
Toshiko YAGUCHI

大野美由紀
Miyuki ONO

松谷　阿咲
Asaki MATSUGAI

ヴァイオリン Violin

小椋　幸恵
Yukie OGURA

水野　敏子
Toshiko MIZUNO

首席
（第2ヴァイオリン）
Principal (2nd Violin)
小尾　佳正
Yoshitada OBI

川上　裕司
Yuji KAWAKAMI

森　亘
Wataru MORI

首席
（第2ヴァイオリン）
Principal (2nd Violin)
小森　絹子
Kinuko KOMORI

神戸　潤子
Junko KAMBE

次席
（第2ヴァイオリン）
Vice-Principal
(2nd Violin)
井上　絹代
Kinuyo INOUE

鬼頭　俊
Shun KITO

次席
（第2ヴァイオリン）
Vice-Principal
(2nd Violin)
米田　誠一
Seiichi YONEDA

坂本智英子
Chieko SAKAMOTO

五十嵐裕子
Hiroko IKARASHI

瀬木　理央
Rio SEGI

ヴィオラ Viola

首席
Principal
石橋　直子
Naoko ISHIBASHI

首席
Principal
吉田　浩司
Koji YOSHIDA

次席
Vice-Principal
今村　聡子
Satoko IMAMURA

次席
Vice-Principal
小林伊津子
Itsuko KOBAYASHI

池村　明子
Akiko IKEMURA

小泉　理子
Ayako KOIZUMI

紫藤　祥子
Shoko SHITO

杉山光太郎
Kotaro SUGIYAMA

寺尾　洋子
Yoko TERAO

チェロ
Cello

首席
Principal
太田　一也
Kazuya OTA

次席
Vice-Principal
新井　康之
Yasuyuki ARAI

次席
Vice-Principal
酒泉　啓
Hiraku SAKAIZUMI

植村　勉
Tsutomu UEMURA

小笠原恭史
Takashi OGASAWARA

幸田　有哉
Yuya KODA

酒井　直
Nao SAKAI

コントラバス
Contrabass

首席
Principal
坂田　晃一
Koichi SAKATA

首席
Principal
古橋由基夫
Yukio FURUHASHI

井上　裕介
Yusuke INOUE

上岡　翔
Sho KAMIOKA

小金丸章斗
Akito KOGANEMARU

田中　伸幸
Nobuyuki TANAKA

中村　尚子
Naoko NAKAMURA

フルート
Flute

首席
Principal
橋本　岳人
Takehito HASHIMOTO

首席
Principal
富久田治彦
Haruhiko FUKUDA

大海　隆宏
Takahiro DAIKAI

中村　淳二
Junji NAKAMURA

オーボエ
Oboe

首席
Principal
寺島　陽介
Yosuke TERASHIMA

諸岡　研史
Kenshi MOROOKA

山本　直人
Naoto YAMAMOTO

クラリネット
Clarinet

首席
Principal
ロバート・ボルショス
Robert BORSOS

浅井　崇子
Takako ASAI

井上　京
Takashi INOUE

ファゴット
Bassoon

首席
Principal
佐々木真樹緒
Makio SASAKI

首席
Principal
ゲオルギ・シャシコフ
Georgui CHACHIKOV

田作　幸介
Kosuke TASAKU

ホルン
Horn

首席
Principal
安土　真弓
Mayumi ANZUCHI

首席
Principal
野々口義典
Yoshinori NONOGUCHI

新井　雅夫
Masao ARAI

水谷　仁
Hitoshi MIZUTANI

トランペット
Trumpet

首席
Principal
井上　圭
Kei INOUE

宮本　弦
Yuzuru MIYAMOTO

トロンボーン
Trombone

首席
Principal
田中　宏史
Hiroshi TANAKA

首席
Principal
藤澤　伸行
Nobuyuki FUJISAWA

香川　慎二
Shinji KAGAWA

バス・トロンボーン
Bass Trombone

小幡　芳久
Yoshihisa OBATA

テューバ
Tuba

亀山　吉彦
Yoshihiko KAMEYAMA

ティンパニ&打楽器
Timpani & Percussion

窪田　健志
Takeshi KUBOTA

菅生　知巳
Tomomi SUGO

三宅　秀幸
Hideyuki MIYAKE

インスペクター
Inspector

鬼頭　俊
Shun KITO

ゲオルギ・シャシコフ
Georgui CHACHIKOV

ステージ・マネージャー
Stage Manager

岡田健太郎
Kentaro OKADA

杉原　清文
Kiyofumi SUGIHARA

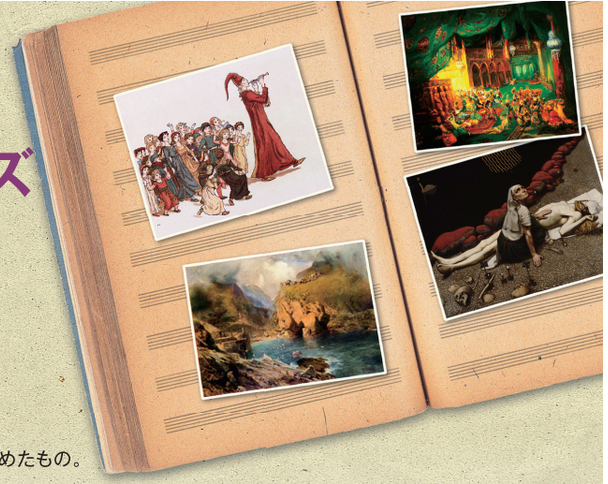
ライブラリアン
Librarian

林　仁志
Hitoshi HAYASHI

（2012年2月現在）

定期演奏会「世界の物語」シリーズ

Subscription Concerts
"Tales of the World" Series



2012.4-2013.3シーズン、
定期演奏会のテーマは音楽で紡ぐ「世界の物語」。
これから始まる全11回のプログラムは、
世界中に伝えられている神話、伝説や歴史、
言い伝えなどを中心に、それらにまつわる楽曲の数々を散りばめたもの。
それぞれの回に出演する世界的アーティストたちと相談、
シーズンのタイトルにふさわしい曲目で作り込まれています。
ページをめくると聴こえてくる、
そこは「むかしのおはなし」の世界――。

定期会員券のご案内

定期演奏会「世界の物語」シリーズ全11公演のチケットをまとめた、「定期会員券」を販売いたします。チケットは30%割引、定期会員割引や先行予約などの特典もセット。あなたも4月から、名フィルの「定期会員」になりませんか?

料金表

11回分まとめて、1回券より30%もお値打ちに!

席　種	1回券合計金額	定期会員券料金（11回分）
セレクト・プラチナ席（限定24席）	￥140,000	￥98,000
プラチナ席	￥105,000	￥73,500
S席	￥70,000	￥49,000
A席	￥59,000	￥41,300
B席	￥48,000	￥33,600
C席	￥37,000	￥25,900
D席	￥26,000	￥18,200
Y席（24歳以下対象）	￥11,000	￥11,000

※Y席のみ、定期会員券でも割引はございません

定期会員の特典

マイシート
シーズンを通して毎回同じお席で定期演奏会をお楽しみいただけます。

曜日振替
金曜日⇔土曜日の曜日振替をいたします。（要予約、満席の場合を除く）

優先確保
次シーズンへのご継続の際、優先してお席を確保いたします。

先行予約
一般発売前に、主な名フィル主催演奏会の先行予約のご案内をいたします。

会員割引
主な名フィル主催演奏会のチケットを、割引価格でお求めいただけます。

ご芳名掲載
会場でお渡しする演奏会のプログラム冊子に、お名前を掲載いたします。

公開ゲネプロ
シーズン1回、本番会場での公開ゲネプロ（総仕上げ練習）へご招待いたします。

サイン色紙プレゼント
毎回、定期演奏会出演者の直筆サイン色紙が抽選で当たります。

販売期間
2012年 **2月12日（日）** 10:00am
▼
2012年 **4月19日（木）** 5:30pm

◎お席についてのご注意
定期会員の座席のご希望は、できる限り承ります。しかし、上記特典「優先確保」の通り、前シーズンから定期会員を継続された会員の方々へ優先的に座席の案内を行なっており、座席数の少ないセレクト・プラチナ席やD席など、席種によっては一般発売前に完売となってしまう場合もございます。あらかじめご了承ください。

お申込み・お問合せ　名フィル・チケットガイド（P.37）

第390回 カレワラの冒険者

The 390th Adventurer of Kalevala

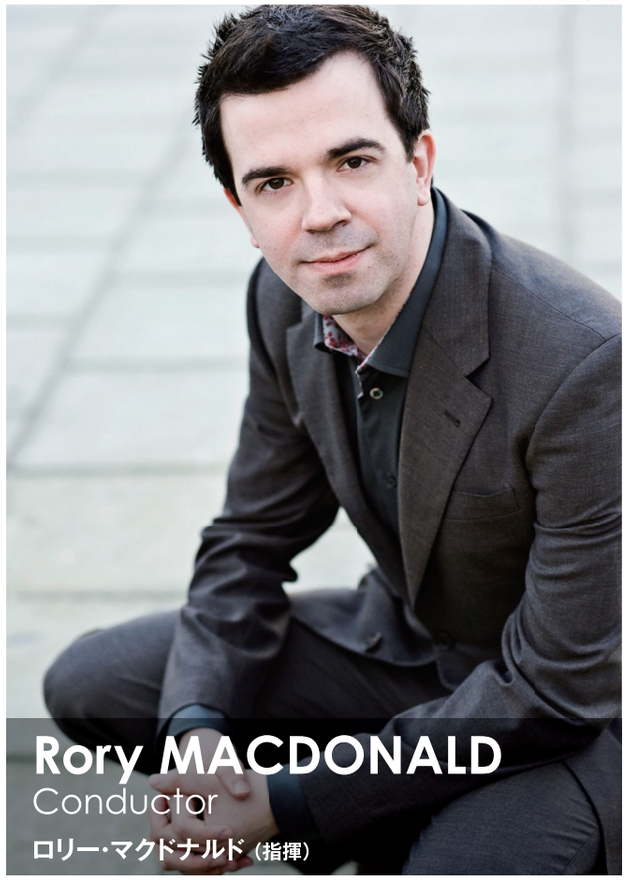
4/20（金）6:45pm・21（土）4:00pm

6:45pm, Friday April 20 / 4:00pm, Saturday April 21

フィンランドの長大な叙事詩『カレワラ』を中心とした4月定期。登場人物のひとり"レンミンカイネン"を主人公に、シベリウスは4曲からなる組曲を作曲。幻想的なイングリッシュ・ホルンが特徴的な「トゥオネラの白鳥」は、単独でも演奏される名曲です。初来日となるロリー・マクドナルドはイヴァン・フィッシャー、マーク・エルダーやアントニオ・パッパーノらの薫陶を受けるケンブリッジ大学卒業の若手有望指揮者。安城市出身の田村響は、『皇帝』で待望の定期初登場。

Photo: Ruth Crafer

田村響*（ピアノ）



ロリー・マクドナルド（指揮）

プログラム

フンパーディンク：歌劇『ヘンゼルとグレーテル』前奏曲
E. Humperdinck *Prelude to Hänsel und Gretel*

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番変ホ長調 作品73『皇帝』*
L. v. Beethoven *Piano Concerto No.5 in E flat major, Op.73 "Emperor"*

シベリウス：レンミンカイネン組曲（4つの伝説曲）作品22
J. Sibelius *Lemminkäinen Suite (Four Legends), Op.22*

◎1回券料金
S席：¥6,000
A席：¥5,000
B席：¥4,000
C席：¥3,000
D席：¥2,000
Y席：¥1,000（24歳以下・当日券のみ）

◎1回券発売日　3月7日（水）9:00am

第391回

ハーメルンの笛吹き

The 391st The Pied Piper of Hamelin

5/18（金）6:45pm・19（土）4:00pm

6:45pm, Friday May 18 / 4:00pm, Saturday May 19

5月は"指揮者"川瀬賢太郎が通算3回目の定期登場。ドイツの都市ハーメルンの有名な伝説に基づき、アメリカ現代を代表する作曲家ジョン・コリリアーノが、サー・ジェームズ・ゴールウェイのために作曲したのが『ハーメルンの笛吹き』幻想曲。奇抜な服装のソリストは楽器を持替え、笛や太鼓を持って登場する子供たち…。初演以来、演奏のたびに演出が変わるこの作品、名フィル版をお楽しみに。また名フィルの名手たちによる、モーツァルト「協奏交響曲」も必見です。

上野星矢**（フルート）

寺島陽介*
（オーボエ／名フィル首席）

ロバート・ボルショス*
（クラリネット／名フィル首席）

安土真弓*
（ホルン／名フィル首席）

ゲオルギ・シャシコフ*
（ファゴット／名フィル首席）

調整中**（子供たち）
TBA, *Children's Group*

プログラム

リゲティ：コンチェルト・ロマネスク（ルーマニア協奏曲）
G. Ligeti *Concert Românesc*

モーツァルト：オーボエ、クラリネット、ホルンとファゴットのための協奏交響曲変ホ長調 K.Anh.9(297b)*
W. A. Mozart *Sinfonia Concertante for Oboe, Clarinet, Horn and Bassoon in E flat major, K.Anh.9(297b)**

コリリアーノ：『ハーメルンの笛吹き』幻想曲（フルート協奏曲）**
J. Corigliano *Pied Piper Fantasy, Concerto for Flute and Orchestra*

◎1回券料金	S席：¥6,000
	A席：¥5,000
	B席：¥4,000
	C席：¥3,000
	D席：¥2,000
	Y席：¥1,000（24歳以下・当日券のみ）
◎1回券発売日	3月7日（水）9:00am

第392回

ある東欧の物語

The 392nd A Story of Eastern Europe

6/15（金）6:45pm・16（土）4:00pm

6:45pm, Friday June 15 / 4:00pm, Saturday June 16

曲目を見たら一目瞭然、テーマはチェコ。1942年にナチスによって壊滅させられたリディツェ村を悼み、当時アメリカに身を寄せていたマルティヌーの慟哭が聴こえる「リディツェ追悼」に加え、カレル・フサがチェコの変革運動"プラハの春"に心動かされ紡いだ「プラハ1968年のための音楽」には、「ブラニーク」でも使われたフス派のコラールが現れます。読売日響正指揮者として大活躍中の下野竜也、個性的なプログラムで4シーズンぶりの定期登場です。

プログラム

スメタナ：交響詩『ブラニーク』（連作交響詩『わが祖国』より第6曲）
B. Smetana *Blaník from Má Vlast*

モーツァルト：交響曲第38番ニ長調 K.504『プラハ』
W. A. Mozart *Symphony No.38 in D major, K.504 "Prague"*

マルティヌー：リディツェ追悼
B. Martinů *Memorial to Lidice*

フサ：プラハ1968年のための音楽
K. Husa *Music for Prague 1968*

◎1回券料金	S席：¥6,000
	A席：¥5,000
	B席：¥4,000
	C席：¥3,000
	D席：¥2,000
	Y席：¥1,000（24歳以下・当日券のみ）
◎1回券発売日	4月11日（水）9:00am